

学校点描

ある講演会で企業の課長さんが、一番大切なのは「挨拶力だ」と語りました。本校の生徒の実態をみると心配です。

《M中学校》

NO.17 R2. 12. 8

担当：校長

学童展（平面の部）で2年生のY・Aさんの作品「夜目果実」が佳作に輝きました。学童書写展では、2年生のH・IさんとS・Rさんが佳作に輝きました。地区読書感想画審査において1年生のS・Aさんが佳作に、2年生のK・Tさんと1年生のY・Mさんが優良賞を受賞しました。12月5日（土）の数学検定には、3級に3年生5名、5級に1年生4名が挑戦しました。自分の能力に花を咲かせている生徒、能力を伸ばそうとしている生徒がいることを、学校の特色にしたいものです。

Y県の新型コロナウイルス対策レベルが3と上がりました。県内・地区内でも、感染経路不明者が複数出てきています。27日（金）には、地区内で感染者が発生する前にやらなくてはいけないことを、全教職員に文書で配布しました。また、文書「新型コロナウイルス感染症に関する対応について」を12月2日に配布しました。学校では、生徒同士がベタベタふっついて歩くことの危険性、じゃれ合っただけで密着しないように、各クラスで指導してもらいました。

県内の教育関係者から組織される山形県教育共励会主催の教育実践発表に、T・F先生から本校のコロナ禍におけるDVD活用についての論文を提出してもらいました。この度、その論文が県内各地区から応募された34点の中から優秀教育実践賞として選ばれました。

家族の中の孤独性

世の中にはいろいろな賞があります。文具のホッチキスを販売しているマックス株式会社が毎年『心のホッチキス・ストーリー』を募集しています。募集内容には何気ない生活の中にある、「今の幸せ」「親と子の気持ちがつながるとき」「家族の絆」など、いつまでも心にとどめておきたい思いや出来事などと書かれています。

コロナ禍の今だからこそ、このような募集に目が留まって過去の大賞に読みふけていました。

『長男が2歳になった頃、私はシングルマザーの道を選んだ。

母一人、子一人。地元での二人暮らし。

実家の両親は、私たち親子を自立させる為、同居を拒んだ。

息子を育てて行く為にした新しい仕事は、お給料を重視した分とても厳しく、毎日が戦いだ。研修中、グループの皆が居残って勉強するなか、一人、定時に帰る不安。まだまだ手がかり、育児を楽しむ余裕もない。・・・』

たった二人だけの家族の形がここに 있습니다。家族って何なのでしょう。

わたしたちは今、世界に類を見ない高齢化社会に直面しています。過去のように

な著しい経済成長期とは違う「新しい幸せのモデル」「新しい家族の幸せ」を見つける、そして「本当の幸せとはなんなのか」を考える時期に来ているのではないのでしょうか。

家族って難しい人間関係だと思います。近しい間柄だからこそ、しょっちゅうもつれてしまいます。家族は、いないと不便だが、いたらいたで不便に感じる人が多いものです。家族は絆だといいますが、わたしには、なんだかしっくりきません。なぜならば、家族にも個があり、孤独があると思っているからです。

『ある日、仕事で失敗し、泣きたい気持ちを抑えて息子に接していた。この子が寝るまでの我慢だ。この子が寝てから思い切り泣いたらいい。寝かしつけるため、布団に入った。目を閉じて寝たふりをする。しばらくして、静かになった息子。

そろそろかなと思った時、突然、小さな腕が私を包んだ。



「ママ、がんばれ。」

こらえていた涙がボロボロと流れ落ちる。私は一人で戦っているわけじゃない。

私の隣にはいつも、世界一の味方がいる。弱い自分に喝を入れながら、温かな気持ちで眠りについた。』

(熊本県 30代女性)2013.10

やっぱり、家族の中にも個があり、孤独があります。でも、さりげない言葉や出来事の中に温度を感じると、言いようのない安心感に包まれるのが家族です。

肩を寄せ合う二人っきりの家族が紡ぎ出す幸せの形に、心が震えるのはなぜなのでしょう。

きりとり

ご意見・ご感想をお願いします。

メールでご意見をいただいても構いません。 Shinyatk1616n@yahoo.co.jp